

令和8年度がスタートしました

4月8日(水)に新しく8名の転入職員を迎え、大月中学校の新年度がスタートしました。始業式で、2・3年生の皆さんに話しましたが、2年生は中堅学年として、後輩ができる立場になり、昨年度の経験を活かし、さらなる目標に向かって頑張ってくれることと信じています。また、3年生は義務教育の最終学年、大月中学校の最上級生として授業や学校行事、生徒会活動、部活動に全力で取り組みみんなを引っ張っていってくれることに期待しています。午後の入学式では、新入生18名が元気に入場し、担任の呼名に大きな声で返事をし、頼もしく感じました。「新入生誓いの言葉」では、新入生代表の富田梓織さんが、堂々とみんなの前で誓いの言葉を発表しました。式終了後は、集合写真を撮り一年教室で一年部の先生からの話がありました。みんな静かに先生の話に耳を傾け、素晴らしい態度でした。これから、全校生徒71名で力を合わせて頑張っていきましょう。



学校教育目標

「人を大切に～聴く・全力・感謝～」

- ☆「聴く」ということは、相手の存在を認め、相手を尊重することにつながります。話している人の方をしっかり見て、自分事として聴くことを意識してください。一時間一時間の授業を大切にし、先生の話、友達の話に耳を傾け、主体的に学習に取り組みましょう。
- ☆「全力」ということは、授業はもちろんですが、部活動、生徒会活動、学校行事等に一生懸命に取り組んでもらいたいということです。一生懸命に頑張る姿はカッコいいし、周りに感動を与えます。一人一人が全力を出し切り集団の力を向上させていきましょう。
- ☆「感謝」ということは、自分の周りの人すべてに感謝の気持ちをもって、接してもらいたいということです。人は、一人では生きていけません。家族、友人、先生、地域の方々、いろんな人に助けてもらい生きているのです。いつも「ありがとう」という感謝の気持ちをもって生活していると、自然に周りに笑顔が生まれます。心にゆとりをもって生活していきましょう。

※一人一人が常に意識して、行動に移しましょう。

教育DXプロジェクトについて

今年度は、大月小・中学校で、「令和の授業を創る推進プロジェクト」教育DXプロジェクトの指定を受けています。期待される効果として、「子どもたちが自己の学びを調整しながら主体的に学び、各教科等で求められる資質・能力が身につく」、「クラウドを活用した学習者主体の授業が実践できる」というような点があげられています。授業においては、「教えられる、教わる」というイメージではなく、自らが課題を発見し、解決に向かうような授業スタイルを目指していきます。その中で、情報デジタル端末等を効果的に活用し、より深い学びを実現させていきたいと思っています。このような授業づくりを全職員で取り組んでいきたいと思っています。一人一人が自分の力を更に伸ばしていきましょう。

お知らせ

昨年度まで4月に家庭訪問を実施していましたが、今年度からは実施しません。個別に相談したいことや伝えておきたいことがある方は、直接担任の方まで連絡ください。よろしくお願いします。